

くきこどもだより



各施設のイベントはこちら

地域子育て支援センター・つどいの広場



児童センター・児童館

児童センター ☎ 21-8181
鷺宮児童館 ☎ 58-7054



ファミリーサポートセンター

本部 ☎ 29-1900



◆ 3月10日(日)～4月9日(火)の保健事業
(3月1日～9日は広報くき2月号に掲載)

問合せ・予約 各保健センター ※4月からは、こども家庭保健課(本庁舎内 ☎ 22-1111)へ
中央 ☎ 21-5354 菖蒲 ☎ 85-7021
栗橋 ☎ 52-5577 鷺宮 ☎ 58-8521

月齢別健康診査

	場所	実施日	受付時間	対象となる生年月日
4カ月	菖蒲	4/9(火)	12:30～12:50	令和5年11月～12月
	栗橋	3/19(火)	13:00～13:30	令和5年11月
	鷺宮	3/14(木)	12:45～13:30	令和5年11月
10カ月	菖蒲	3/11(月)	12:30～12:50	令和5年4月～5月
	鷺宮	3/15(金)	12:45～13:30	令和5年5月
1歳6カ月	中央	3/12(火)	12:45～13:30	令和4年8月11日～8月31日
3歳	中央	3/13(水)	12:45～13:30	令和2年11月6日～11月30日

乳幼児健康相談【要予約】

	場所	実施日	受付時間
4カ月	中央	3/15(金)	9:30～11:00
	菖蒲	3/19(火)	9:30～11:00
	栗橋	3/11(月)	9:30～11:00
10カ月	菖蒲	3/11(月)	9:30～11:00
	鷺宮	4/9(火)	9:30～10:30

コアラ(障がいのある子どもの保護者のつどい)
【初めての方は要予約】

場所	実施日	時間
栗橋	3/26(火)	10:00～11:30



こどもとよみたいえほんコーナー



ぴよん

著者：内田麟太郎／作 高畠純／絵
出版社：金の星社

はるです。うれしくなって、ぴよん！とだれかがげんきにとびだしました。だれがとんだかわかるかな？



とってもすてきなうちです

著者：なかがわちひろ／文 高橋和枝／絵
出版社：アリス館

ありさんやちょうちよさんなど、いきものたちのすてきなうちをのぞいてみましょう。

絵本は市立図書館で所蔵しています。ぜひご利用ください。

広告

ケーブルテレビの「ケーブルスマホ」学割キャンペーン実施中

窓口にご来社のかた限定！

CATV ケーブルテレビ久喜 ☎ 0120-25-1819 〒349-1103 久喜市栗橋東4-20-7 にご来社お待ちしております！

若い世代と市長との座談会



▲前列左から佐藤正直さん、関根さん、大輪さん、佐藤詩織さん、石川さん、後列左から柴木さん、宮内さん、市長、稲葉さん、北原さん

1月13日、将来を担う若い世代と久喜市のまちづくりについて話し合うため、「若い世代と市長との座談会」を開催しました。座談会では、4つのテーマに基づき、今年度20歳を迎えた皆さんからさまざまな意見が出されました。座談会の模様の一部をお届けします。



テーマ①「久喜市の魅力を再発見しよう」
久喜市の好きなところ、もう一息と思うところ
宮内さん「大学では、久喜のことを鉄道の乗り換えが便利で知っている人も多いので、アクセスの良さが好きです」
関根さん「久喜に帰ると落ち着いていて、その雰囲気が好きですね」
柴木さん「落ち着いてるし、治安もいって思っています」
大輪さん「もう一息と思うのは、地区によって娯楽の場所が偏っているなって」
石川さん「野球や陸上など、専用のスポーツ施設があってもいいと思います」
北原さん「子育てに適した環境があると、住み続けたい、戻ってきたいという人も増えるのではないのでしょうか」
市長「それぞれの地域に課題や多様性があるのが久喜市の特徴かなと思います。地域によって色んな人たちがいて、地域の伝統も違って、面白いですよ。地域の良さをとんとん発揮して、持続可能なまちづくりをやっていきたいと思います」



テーマ②「健康・スポーツ都市宣言！久喜マラソン大会を盛り上げよう」
より多くの方に参加してもらえるようにするには
稲葉さん「フランスでは給水場所でワインをもらえる大会があると聞いたことがあります。マラソンが好きじゃない方でも走りたい、沿道で応援するのが楽しいと思うような、魅力ある大会にすることが一つかなと」
佐藤正直さん「久喜の参加費の安さなど、メリットの部分をもっとアピールするといいいのでは」
佐藤詩織さん「身近な人の意見って信憑性があるので、ポスター等でPRするときに、参加者の感想を取り入れてみてはいいでしょうか」
市長「久喜市のスポーツを応援したいっていう人にどうやって情報を届けていくかということも、大きな課題ですね。色々工夫をして、これからやっていきたいと思っています」



テーマ③「学校を活用しよう」
廃校となった学校の活用方法
北原さん「学校は地域のシンボルというか、特別な意味を持っていると思います。地域住民の交流を図れるようなイベントに活用するとか」
大輪さん「幅広い人たちが学べる場所として、自習室に変えてしまうのもいいのかな」
関根さん「都内にあるような、学校の形を残したカフェとかもワクワクすると思います」

座談会を終えて
参加者からは「直接対話することで、市長との距離を身近に感じた」「自分にできることをやりたい。市について知らないところもたくさんある」「市長が真摯に話を聞いてくれて、嬉しく感じた」という感想が寄せられました。

な取り組みもありますね。そういう取り組みがあると面白いですよ」
佐藤詩織さん「長期的に興味を持ってもらえるように、選挙のお手伝いをする活動などの対象年齢を引き下げてみるとか、そういう取り組みがあったら、選挙に行く意義を自分で見出すきっかけにはなるのかなと思います」